

2023年7月13日
JFE 建材株式会社

国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館に出展

当社はこのたび、国土交通省関東地方整備局関東技術事務所 建設展示館に出展いたしました。

建設技術展示館は、最新の建設技術や取組を、パネルや映像、模型等を活用して一般の方にもわかりやすく展示した体験型施設であり、令和5年5月31日に国土交通省関東地方整備局関東技術事務所によりリニューアルオープンいたしました。千葉県松戸市にある本展示館は、今年で第16回を迎えており、本年（第16期）は「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」、「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つテーマについて公募によって選定された官学民の技術・工法を展示しています。JFE 建材は、「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」に関する技術として、【J-HD スリット】と【津波バリアー】が選定され、展示しています。展示期間は令和5年5月31日～約2年間になります。展示ブースでは2つの技術を映像や模型等でわかりやすく解説しており、JFE 建材の技術が防災・減災・国土強靱化に対してどのように貢献しているかをご覧ください。

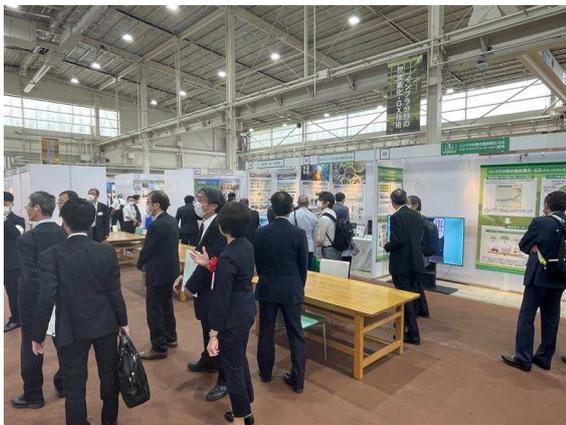


写真1 リニューアルオープン初日の展示館の様子



写真2 JFE の展示ブース

以下参考

【J-HD スリットについて】

J-HD スリットは、土石流区間及び掃流区間に設置されている既設不透過型砂防堰堤に、流木捕捉機能を付加できる流木捕捉工です。令和4年1月31日に「建設技術審査証明書」を取得しています。

特長としては、

- ① 既設不透過型砂防堰堤に極力手を加えずに流木捕捉機能を付加できます。
- ② 既設不透過型砂防堰堤の上流側本体に直接設置します。
- ③ 上流側の堆砂状況が未満砂、満砂のどちらでも設置可能です。

鋼製流木捕捉工
J-HD スリット

既設不透過型堰堤に流木捕捉効果をプラス

近年、異常気象による河川によって土石流が増加し、土砂や流木が既設堰堤を越えて流出する事例が多発しています。J-HDスリットは既設のコンクリート不透過型堰堤に設置し、流木を捕捉する効果的です。



既設コンクリート堰堤に J-HDスリットを取り付け 流木捕捉機能を付加

高砂堰堤 J-HDスリット J-HDスリット 未採砂時 採砂時

建設技術審査証明取得済
令和4年に一般財団法人砂防・地すべり技術センターより「建設技術審査証明」を取得済です。

 JFE 建材 株式会社

鋼製流木捕捉工
J-HD スリット

既設不透過型堰堤に流木捕捉効果をプラス

J-HDスリット

既設不透過型堰堤 調整コンクリート アンカーボルトにより取付

施工事例



建設技術審査証明取得済
令和4年に一般財団法人砂防・地すべり技術センターより「建設技術審査証明」を取得済です。

 JFE 建材 株式会社

【津波バリアーについて】

津波バリアーは、津波により漂流物となり得る対象（小型船舶、車、コンテナ、材木）に合わせて支柱と捕捉スクリーンを適切に配置することで、漂流物を捕捉する漂流物対策工です。

特長としては、

- ①海域と陸域の境となる岸壁・護岸などに設置することで津波とともに流れる漂流物を捕捉し、漂流物の衝突・散乱により発生する災害を防止します。
- ②支柱には衝撃吸収性能に優れた鋼管を使用し、捕捉スクリーンにはワイヤロープを使用します。ワイヤロープの伸びと鋼管のへこみ変形及び梁変形により漂流物の衝突エネルギーを吸収します。
- ③支柱の基礎は、作用した外力を安全に伝えるように直接基礎あるいは杭基礎とします。

漂流物対策工
津波バリアー

津波で発生する漂流物を止める技術

津波・高潮による直接的な被害はもとより、それに伴う船舶、車、コンテナなどの漂流物による二次的被害が被害を拡大させ、人命・財産の被害を助長しております。
津波バリアーは漂流物を捕捉することで、被害を大きく減らす技術です。



押し浪時は船舶の流入を防止



引き浪時はコンテナ・車両等の流出を防止します



内陸部では重要建造物を守ります

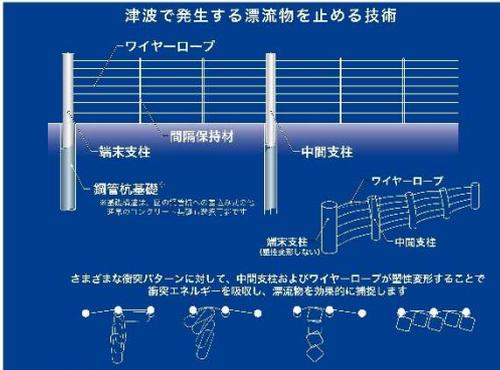


**** 高潮・津波バリアー研究会
平成18年に発足した当研究会は港湾土木、鋼構造等の専門家らによって漂流物対策技術を研究している組織です。

 **JFE 建材 株式会社**

漂流物対策工
津波バリアー

津波で発生する漂流物を止める技術



さまざまな衝突パターンに対して、中間支柱およびワイヤロープが塑性変形することで衝突エネルギーを吸収し、漂流物を効果的に捕捉します

» 施工事例




 **JFE 建材 株式会社**